

2014年8月27日

震災から3年。再生にむかう宮城県南三陸町を撮り続ける写真家、佐藤信一によるシリーズ第4弾。

いま南三陸町で強くたくましく暮らす方々の姿を、スタジオ写真でお伝えするフォトレター。

『南三陸から vol.4 2013.3.11～2014.3.11』

株式会社アサツー ディ・ケイ（本社：東京都港区 代表取締役社長：植野伸一 以下ADK）は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町で、震災直後から現地の様子を撮影し続けている佐藤信一さんの写真集『南三陸から vol.4 2013.3.11～2014.3.11』を刊行します。

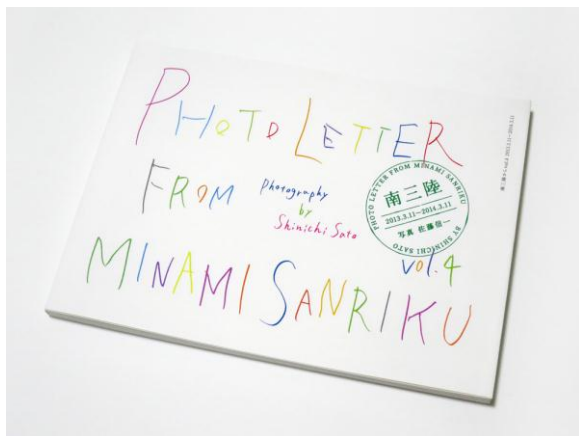
本書は、2011年9月より刊行している写真集シリーズ『南三陸から』の第4弾となります。震災を経て、かつてとは姿が変わってしまった南三陸町ですが、町再生のグランドデザインも示され、再生への具体的なアクションへと動き出しています。

そうした中、「真の再生とは、そこに生き生きとした生業のあること。人々が行き交い子どもたちが元気に駆けまわり、四季を感じながら生活できてこそ」と信じる佐藤さんが、いま南三陸町で強くたくましく暮らす方々に焦点を当て、震災以前から撮っていた佐藤さんのルーツとも呼べる「スタジオ写真」の体裁で、その姿をおさめたフォトレターです。

この写真集1冊につき300円を寄付、さらに利益が発生した場合はその全額を南三陸町への支援金として寄付します。

本シリーズ（Vol.1/2/3）による現在までの南三陸町への寄付金額は9,527,150円です（2014年8月時点）

<写真集概要>



『南三陸から vol.4 2013.3.11～2014.3.11』

著者：佐藤信一

オフィシャルサイト：

<http://www.minamisanriku-kara.com/vol4>

体裁：B5判／96ページ

刊行日：2014年8月

定価：1,500円（税別）

*1冊につき300円を南三陸町に寄付。

発行：ADK 南三陸町復興支援プロジェクト

発売：日本文芸社

Amazon：<http://www.amazon.co.jp/dp/4537278706>



<著者プロフィール>

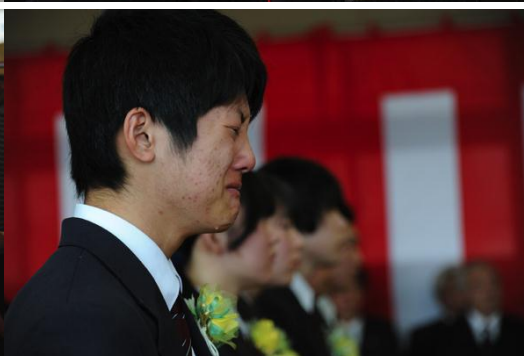
1966年、宮城県本吉郡南三陸町生まれ。親子2代、南三陸町で写真館「佐良スタジオ」を営んでいたが、2011年3月11日、東日本大震災の津波により自宅及び写真館を失う。「一番苦しいときの写真を残す。この先、何が起きても、みんなが乗り越えられるように」と、唯一持って逃げたカメラで地震直後から失われた街が元通りになるまでの道のりを現在も撮りつづけている。

<『南三陸から vol.4 2013.3.11～2014.3.11』収録内容(抜粋)>



震災から11ヶ月で再建し
あつという間に2年が過ぎました。
いろんな方と出会い、支えられ
「下道荘」があると思います。
これからも出会いを大切に
癒される宿を目指したいです。

民宿 下道荘 菅原由輝



本写真集に収録されたイメージ・写真をご利用の際、また、著者である佐藤信一さんへの取材等につきましては、下記の担当までご連絡ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

【報道各位からのお問合せ先】

株式会社アサツー ディ・ケイ 広報室 平尾由利 TEL:03-6830-3855 / E-mail:mskr_prj@adk.jp

<ご参考:「南三陸から」Vol.1/2/3 について>

『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』

東日本大震災で失った物や失った人を、悼みながらも前へ歩もうとする南三陸町の人々。そんな彼らと故郷の姿を 2011.3.11～2011.9.11 の半年間、自らも被災者である佐藤信一さんが撮り続けた写真集です。震災に対する悲しみや怒りを淡々と表現し、同じ被災者であるからこそ撮り得た、よそ行きではない人々の姿の写真が評価され、第 43 回 講談社出版文化賞「写真賞」を受賞いたしました。

『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』

第 1 弾の続編として、2011.9.11 から、様々な想いを抱えて迎えた 2012.3.11 の追悼式までを記録した写真で綴るフォトレターです。故郷と大切な人々の姿を未来に残す希望の写真集であり、10 年スパンの復興に際し、求められるのは「つづいていくこと」であるという考えのもと、刊行いたしました。

『南三陸から vol.3 2012.3.11～2013.3.11』

被災地を訪れる人が少なくなってきていた中で、ひとりでも多くの人に訪れてほしいと願いながら綴った佐藤さんの手紙と写真で、南三陸の魅力を伝えること。そして被災地の現状を伝えるだけでなく、ガイドブックとして観光誘致の支援になることも目的として、刊行いたしました。

<ご参考:第 1 弾『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』写真集収録内容>

